

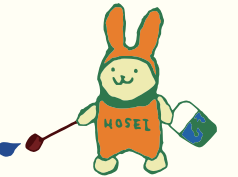


法政大学が取り組む SDGs

2016年に策定した法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」にて使命として掲げた「地球社会の課題解決、持続可能な社会の未来への貢献」。それは、SDGs（持続可能な開発目標）の実現に連なるものだからこそ、本学ではSDGsの推進に積極的に取り組んでいます。

2022年度には「カーボンニュートラル推進特設部会」も発足し、脱炭素社会に向けた活動を強化しています。

持続可能な未来を実現するには、この動きを加速していく必要があります。そのために、私たちは何ができるのか、何をすべきか。法政大学でSDGsに取り組む教員および学生が集まり、語り合いました。



法政グローバルデイ2022

5月15日(日)に「法政グローバルデイ2022」を対面および一部オンラインで開催しました。

本イベントは、スーパーグローバル大学創成支援事業の一環として、国際協力・国際交流への興味を喚起することを目的とするもので、企画から運営まで、学生の実行委員が中心となって取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症流行の影響により、実地開催は3年ぶりとなりました。

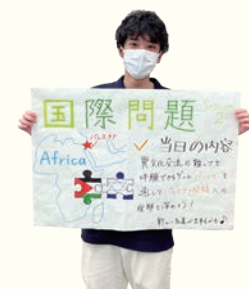
開催に当たっては定員制・事前予約制を取り入れ、十分な感染症対策を施した上で実施し、イベント当日は約140名が参加しました。

冒頭では、国際的な取り組みに積極的に参加した学生を表彰する「グローバル・ポイント制度」の2021年度表彰式やグローバル教育センターのプログラム紹介を実施、セッション1ではゲストを招いた講演会、セッション2では学生が企画したワークショップを実施しました。参加者からは、各セッションへの参加を通じて、「異文化理解を深め、視野を広げることができた」「自分にできることを考え行動に移したい」との感想をいただきました。

グローバル教育センターウェブサイト



「法政グローバルデイ2022」の学生実行委員 ※撮影時のみマスクを外しています



セッション2では学生が企画した「国際問題」、「SDGs」、「留学生」、「言語」、「表象文化」の五つのテーマに基づくワークショップを実施。写真は、SDGsブースの様子



写真は、言語ブースの様子。カードゲームやクイズ、ディスカッション、留学生との交流などを通して、各テーマでの知識を深めながら交流が広がりました



セッション1では、特定非営利活動(NPO)法人ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)事務局長の木内真理子氏による「世界の子もたちと貧困、キャリアプランのヒント」をテーマとした講演を開催。貧困と、今後のキャリアについて考える契機となる話が語られました

HOSEI 6・7 Contents

communication magazine 2022

02 HOSEI EYE 法政グローバルデイ2022

03 座談会企画 法政大学が取り組むSDGs

08 最先端の分野がそろう大学院

12 卒業生インタビュー

「自分で選んだ道を、自分らしく歩む それが私の輝き方」
車いすフェンシング日本代表 河合 紫乃さん

14 ESSAY

「数値シミュレーションで想定外に備える」
デザイン工学部都市環境デザイン工学科 教授 山本 佳士

16 HOSEI PHRONESIS VOL.45

「販売実績データなどを分析して消費者行動を科学的に解明」
経営学部経営戦略学科 准教授 猪狩 良介

18 MY CAMPUS, MY LIFE

社会学部メディア社会学科 別府三奈子教授ゼミ/ジャズダンスサークルONE

20 Message 「個人競技におけるチーム力」

法学部国際政治学科4年 原田 俊平さん(体育会航空部 主将)

21 THE SCENE VOL.137 ワンダーフォーゲル部

22 後援会だより 「2022年度後援会 会長就任あいさつ」「会長退任あいさつ」ほか

26 HOSEI ミュージアム VOL.027

「明治期法政大学の講義録 ～通信教育の先駆け～」

27 校友会だより

28 HOSEI TOPICS

30 2021年度自由を生き抜く実践知大賞 3

31 BOOKS

COVER 小金井キャンパス 撮影：平野太呂

小金井キャンパス中央館は2階建てで、主に理工学部創生科学科が利用している実験室や研究室、ゼミ室などが配置されています。三方を校舎に囲まれた中央に位置するため、中央館前の通路は教室を移動する学生でにぎわっています。



より、年度ごとに取り組みの進捗を確認し、施策が適切かを見直しています。新たな課題が見つければ、改定することを取り組みの進化が図れると考えています。

小秋元…プロジェクトの旗手である川久保先生としては、SDGs達成に向けて法政大学が果たしている役割、その強みはどのあたりにあると考えられますか。

川久保…まず挙げたいのが、2019年に始めた「SDGsサティフィケート」です。これはSDGsに関する科目で構成されている学部横断型の科目群から、所定の単位を取得したら「修了証（サティフィケート）」を授与するプログラムです。本学は15学部を擁する総合大学ですから、大学全体で取り組んでいる研究分野は多岐にわたります。他の学部の学びにも触れることで、SDGsの知見をさらに広げ、かつ深められる。そうした横展開のできる資産を有し、比較的早い段階から手掛けてきたことは、強みの一つだと考えています。

小秋元…川久保研究室でも、SDGsに関する取り組みを進めていると聞いています。今回は、代表して2人の学生さんに参加していただいています。具体的な研究活動についてご紹介ください。

出水…二酸化炭素（CO₂）の排出量を推計するシミュレーションモデルの開発に取り組んでいます。私は家庭部門を担い、一般的な住宅から排出される場合を想定して調査・分析しています。

林…私は業務部門を担い、学校やオフィス、公共施設など、住宅以外の建物から排出されるCO₂の排出量の推計に取り組んでいます。

小秋元…研究を始めてみて、何か気付いたことはありますか。

出水…一人一人の省エネ意識の向上と実践の積み重ねによるCO₂排出量の削減がカギだということが分かっています。卒業論文では、空調（冷暖房）、給湯、家電製品の使用、太陽光発電などの創エネルギー対策、ライフスタイルでの工夫、新築や改築時の留意点など、一般家庭での対策を7カテゴリに分類し、どの程度の効果が期待できるかをシミュレーションするモデルを開発しました。その結果、家庭では暖房や給湯など、空間や水を温めるためのエネルギー消費割合が大きいことが明確になりました。

林…研究途中なので、確定的なことは言えませんが、学校やオフィスでは、照明に関する節電意識が高くないように感じています。誰かが消すだろう、自動的に消えるだろうという意識で、電気をつけっぱなしにしてしまうケースもあるようです。

川久保…確かに、学校やオフィスでは、照明によるエネルギー消費割合の高さが指摘されています。一人一人の省エネ意識が大切ということですね。

井川…学生の興味に応じてプロジェクトを立ち上げる形で活動しています。2019年度から毎年11月頃に地方自治体や企業などにご協力いただいて開催している「HOSEI SDGs WEEKS」の運営サポートなどにも携わっています。

金藤…井川さんは、SASHではどのようなプロジェクトに関わっているのですか。

小秋元…SDGs達成のために活動している学生組織として、SASH（サッシュ）の活動も活性化していると耳にしています。具体的にはどのような活動をされていますか。

井川…学生の興味に応じてプロジェクトを立ち上げる形で活動しています。2019年度から毎年11月頃に地方自治体や企業などにご協力いただいて開催している「HOSEI SDGs WEEKS」の運営サポートなどにも携わっています。

金藤…井川さんは、SASHではどのようなプロジェクトに関わっているのですか。

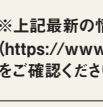
SDGs実現の輪を広げるには
次の世代に継承するための
仕組みづくりが重要



・法政大学 SDGs+（プラス）プロジェクト2030 アジェンダ



・法政大学 SDGs サティフィケート



※上記最新の情報に関しては、大学ウェブサイト (<https://www.hosei.ac.jp/sdgs/>) をご確認ください。



・VUR (Voluntary University Review)



・HOSEI SDGs WEEKS



・SDGs 実践知ゼミナール

井川…私は「SDGs×キャリアチーム」に属し、SDGsのような活動を自身のキャリアに落とし込むにはどうすればよいか、メンバー間で考察を重ねています。教学企画室が主催する「SDGs実践知ゼミナール」の運営に携わり、企業はどのようにSDGsに取り組んでいるのかを広める活動も展開しています。

——学生の皆さんは、研究や学生団体の活動を通じてSDGsに携わっていますが、その研究や活動を始めようと考えたきっかけはどのようなものでしたか。

出水…私の研究の原点は、小学校の頃に体験した東日本大震災です。地震や津波

座談会に参加したメンバー



小秋元 段
常務理事・副学長



金藤 正直
人間環境学部 人間環境学科 教授
HOSEI2030カーボンニュートラル推進特設部会座長



川久保 俊
デザイン工学部 建築学科 教授
法政大学 SDGs+（プラス）プロジェクトリーダー

SASH SDGs Action Students of HOSEI



井川 博貴さん
理工学部
応用情報工学科 4年



SDGs達成に向けて、他大学や企業と連携したイベントを企画するなど、学生主体の活動を展開している大学公認の学生組織。古着のリメイクやファッションショーなどのイベントを手掛ける「ファッションチーム」や、本学の教学企画室や企業と連携し、SDGsの取り組みを自分のキャリアに結び付けて考える「SDGs×キャリアチーム」など、6チームが稼働。大学のウェブサイトや会員制交流サイト（SNS）を通じて情報を発信中。

● https://www.instagram.com/sash_hosei/ ●

川久保研究室



林 優華さん
デザイン工学部
建築学科 4年



出水 優人さん
デザイン工学部
建築学専攻修士1年



環境工学の視点から未来のあるべき建築・都市像を探索する中で、SDGsを原動力としたまちづくりに関する研究を推進。出水さん、林さんは「省エネ・脱炭素建築に関する研究」の一環で、家庭部門、業務部門に分かれて調査・分析。エネルギーを節約する「省エネ」、太陽光発電などでエネルギーをつくり出す「創エネ」、エネルギーをためておく「蓄エネ」の観点から二酸化炭素（CO₂）排出量を推計するシミュレーションモデルを開発している。

● <https://kawakubo-lab.ws.hosei.ac.jp/> ●

SDGs実現のカギは
何をすべきか明らかにして
成果を検証し続けること

——法政大学では、どのようにSDGsに取り組んできたのか、その背景とこれまでの流れをご紹介ください。

小秋元…法政大学は2016年に法政大学憲章を定め、持続可能な社会の未来に貢献することを使命として掲げています。2015年に国連で採択されたSDGsと目指す先が同じことから、当時の田中優子総長はSDGsの趣旨に賛同するという総長ステイトメントを公表し、大学としてSDGs実現に向けた活動を続けてきました。SDGs+（プラス）プロジェクトリーダーとして取り組みをけん引してきた川久保先生は、どのような点を重視されてきましたか。

川久保…SDGsの認知が進むにつれ、産官学民を問わず、取り組みを始めた団体が増えました。ただ、取り組みの成果を確かめづらいことから、進め方が曖昧になり迷走しがちであるという問題点もありました。そこで本学では、目指すべき方向性を明確にするとともに、取り組みの成果を随時検証し、「見える化」することを目指しました。それが「SDGs+プロジェクト2030アジェンダ（行動計画）」の策定であり、VUR（Voluntary University Review）と位置付けられたSDGsレポートの発行です。これに



の影響で、原子力発電所が事故を起こし、各地で計画停電が行われるなど、大きな混乱に見舞われました。子ども心に電力が供給されないと大変なことになるのだとエネルギーの重要性を強く感じ、そこから興味を持ち始めました。川久保研究室での研究テーマは、エネルギーに関連するテーマの中から選びました。

林…建築学科で建築を学ぶ中で、環境に配慮した建築とはどんな建築だろうと興味を持ったことがきっかけでこの研究を選択しました。また脱炭素はさまざまな要因を複合的に考えて打開策を考えると、ころも面白いと思いました。

井川…私はファッションが好きなのですが、アパレル産業は消費者のニーズにより応えるため大量生産、大量廃棄を繰り返すビジネスモデルが多く採用されており、結果として環境破壊を招いている現実を知りました。ファッション好きとして、この問題から逃げてはいけなと感じ、さまざまな企業の状況を知りながら、

SDGsのことを考えたいと思っていたところに、SASHという選択肢を見つけたのです。

小秋元…活動時に、苦労したことや壁にぶつかった経験などはありましたか。それをどのように乗り越えましたか。

出水…研究には、正解がありません。データ分析を繰り返しても、何が最適なのか分からず、もがき苦しむことは多いです。でも、自分のやっていることには意義があるはずだと、原点に立ち返り、モチベーションを上げるようにしました。研究室で頭を抱えて悩んでいると、先輩が声を掛けてくださり、気分転換をさせてくれるなど、さりげないフォローがあつて助かりました。

林…まだ大きな壁にはぶつかっていませんが、先輩の背中を見て、研究のオンオフの切り替えをしながら、取り組んでいます。

井川…メンバー全員が同じ熱量を持ってプロジェクトに参加しているわけではないので、企業の方との関わり方とチームマネジメントの難しさには、考えさせられました。仕事の偏りが発生することもあり、その調整に苦労するとともに、メンバーには助けられました。

小秋元…皆さんのように、SDGsに対する意識の高い学生を輩出できることは大学として喜ばしいことです。

川久保…学生の皆さんには社会に出て活躍していただくとともに、大学で手掛けた活動は、次の世代に引き継いでいってほしいと願っています。研究室でも、上



では2020年10月に当時の菅義偉総理大臣が所信表明演説で「2050年までにカーボンニュートラルを実現する」と世界に向けて宣言したことで、その重要性が再認識されました。法政大学は環境センターを設置して、「法政大学環境報告」を毎年発行。2017年度からは、独自の環境マネジメントシステムを始動させています。これからは、取り組みを「見える化」していくことが必要だと考えています。

川久保…カーボンニュートラルはSDGsのゴール7（エネルギー）やゴール13（気候変動）に関連する対策です。いわゆる「気候変動緩和策」と呼ばれるものです。つまり温暖化の影響を少しでも緩和させようとする対策です。一方で、SDGsのゴール13でもう一つ重要視されているのは「気候変動適応策」。つまり気候変動による影響を想定し、大きな被害につながらないように備えようという考え方です。SDGsへの取り組みをいち早く進めてきた本学としては、カーボンニュートラルを考える際には、気候変動の緩和策と適応策をきちんとリンクさせた取り組みを打ち出していきたい。それが、他大学との差別化にもなるのではないかと思います。

小秋元…学生の皆さんから、何か質問や意見はありますか。

出水…こうした社会課題に大学全体で取

級生は知恵を継承するように、下級生に並走してサポートする。バトンを渡した後を託せる仕組みづくりを心掛けています。

小秋元…次の世代に継承し、持続させていくことが重要なですね。

川久保…SDGsを学内に推進していくフォロアアップ活動もまた、サステイナブルでなければいけないと強く感じています。初年度に頑張りすぎて疲弊し、後が続かなくなってしまうのは意味がありません。持続可能な未来を考える活動を継続させ、取り組みの質を上げていくためには、どのように活動していくべきか。これからも議論を続けていきたいと思っています。

小秋元…井川さんは「SDGs×キャリア」に取り組んでいるようですが、企業の取り組みのどのような点に着目していますか。

井川…個人的な意見になりますが、SDGsに関連する活動は企業利益に直接結び付かないことが多く、実はビジネスの現場は気乗りしていないのではないかと懸念する気持ちがありました。ただ、実際にお話を伺ってみると、真剣に考えている方が多いと感じています。

金藤…経営学的な観点でいうと、井川さんの懸念はその通りです。冒頭で川久保先生がおっしゃったように、時代の流れからSDGs推進をうたうけれど、それに適応する体制ができていない。SDGsを手掛けたくても、進め方が分からなくて迷走している企業は多く存在します。

り組むには、学部間で連携し合うことが大切だと思いますが、カーボンニュートラルとの関連性が薄そうな学部でも理解を深める機会がありますか。

金藤…大学全体で取り組んでいくためには、まず学部それぞれで、どのように

SDGsやカーボンニュートラルに向き合うのか、何ができるのか、何をしたいのか、立場を明確にしていくことが重要だと感じています。連携したい気持ちはあっても、相手は何ができるのか、何をしようとしているのかが分からなければ、どうやって協力し合えるかイメージしづらい。その結果、問題解決が進みづらくなるからです。

林…企業がSDGsやカーボンニュートラルに取り組む上で、注意した方が良い点を教えてください。

金藤…私個人の感想になりますが、SDGsもカーボンニュートラルも、目的であり、手段でもあります。企業の立場からすれば、環境問題も社会問題も大切ですが、大前提として利益を確保しなくてはならない。それを無視してSDGsに取り組むことはできないので、大学での人材育成でも、目的と手段、理想と現実、理論と実践、それぞれをバランス良く教育することが大切だと考えています。

井川…キャンパス間の温度差を少し感じることがあります。SASHのメンバーも、小金井キャンパスの学生は非常に少

事業としてSDGsに取り組む意義は何か。どのように評価されるのか。それらを明確にする仕組みをつくって、実現のイメージを共有化していくことが重要です。

今やるべきこと、この先やっていくべきことを明確にカーボンニュートラルを推進

小秋元…SDGsに関連する社会課題と



ないので、理系の学生にSDGsに目を向けてもらうにはどうしたらいいでしょう。

川久保…理系の学生には社会工学者を指してほしいと思います。私も理系出身ですが、自分の開発する技術やサービスが、世の中にどのように役に立つのだろうかという視点は大切だと思います。例えば「SDGs WEEKS」への参加を呼び掛けてみてはいかがでしょう。理系学部はイノベーションの宝庫ですし、SDGsに関連のある研究室であれば、学生の皆さんから指導教員や研究室の他のメンバーに「うちの研究室も参加してみませんか」と声を上げてほしいですね。

金藤…文系と理系が共同した、文理融合の取り組みも実現していきたいですね。川久保…確かに、理工学部で技術開発をして、法学部が法律や権利の側面からアプローチするなど、知見を持ち寄ることでもムーブメントを起こせそうですね。

金藤…少なくとも、カーボンニュートラルに関しては、現実に即した目標を掲げて、着実に実現していくことを目指したいと思います。時間軸を設けて、今やるべきこと、この先やっていくべきことを話し合い、必ず実行していくという姿勢で臨みたいと思っています。

小秋元…本日は、充実した話し合いができました。SDGsやカーボンニュートラルについて、家族や友人と語り合う機会を持つこともいいですね。本日はありがとうございました。

一同…ありがとうございました。



HOSEI2030の第二期中期経営計画（2022年度～2025年度）についての詳細はQRコードからご確認ください。

大学院での学びから得たこと

本学大学院に在籍または修了されている4人の先輩から、
大学院に進学するに当たっての思いや大学院での体験を話してもらいました。

現場で生きる力を身に付ける場

人間社会研究科 臨床心理学専攻 修士2年
新井 美奈さん
現代福祉学部 臨床心理学科 卒業



進 学した理由は、公認心理師および臨床心理士資格の取得と、卒業後に心理師として働くための専門的で高度な知識や技能を養いたいと考えたからです。学内進学者向けの入学金免除制度を利用でき、学部頃から慣れ親しんだ環境に身を置いて研究ができることで、本専攻を志望しました。

臨床心理学専攻では、専門的な講義を受講するだけでなく、各心理検査やカウンセリングなどを実施します。加えて、学内に設置された臨床心理相談室や外部の医療機関などで実習を行うことが特徴です。1年次には専門的な知識や技能を身に付け、2年次にはそれらを生かしながら、より実践に即した学びを得ることができます。

先生方の専門分野や学派に偏りがいないため、自分の視野を広げること、自分の興味関心に合わせて深く学ぶことの両立ができています。所属ゼミの垣根を越えて、先生方が親身になって指導してくださるところも魅力です。

同じ志を持った仲間と共に切磋琢磨しながら、自分の可能性を広げられる大学院へ進学してみませんか。

「目標への努力」を支えてくれる空間

法務研究科 法務専攻3年 既修者コース
小野 翔大さん
法学部 法律学科 卒業



私 の目標は法曹になることです。自分が興味のある法律を使い、人の役に立ちたい、法律の知識を多くの人に広めたいという思いがあるからです。そのためには司法試験合格が必須であることから、「勉強に専念しながら、実務的なことも学びたい」と考えて、法科大学院への進学を選択しました。

学部3年次には法科大学院に行くことを決めていましたが、どの法科大学院に進学するかは悩みました。

当時、学部生向けに公開されていた法政大学法科大学院の講義を受ける機会があり、受講してみると、少人数制の授業なので先生との距離が近く、学習に適した環境が十分に整えられているという魅力を実感しました。奨学金も多く、学内進学なら入学金がかからないなどの利点もあり、金銭的負担が抑えられた点も決め手の一つです。現在は、授業料相当分の奨学金も頂きながら、勉強に専念しています。

法政大学法科大学院は、申し分ないほど学習環境が整えられた素晴らしい場所です。ぜひ、このすてきな場所で共に勉強に励み、自身の目標達成にまい進しませんか。

時代によらない専門性の追求

経済学研究科 経済学専攻 修士2年
城 宏樹さん
経済学部 経済学科 卒業



大 学院への進学を決めたのは、私も周りも就職活動を終えた学部4年生の11月という大変遅い時期でした。

学部4年生になる少し前、新型コロナウイルス感染症（コロナ）が世界的に大流行し、コロナ前とコロナ後で分けられるほど常識が変わりました。その渦中で就職を考えた時、このまま社会に出るのではなく、今一度自身と向き合い、専門性の追求や将来の常識を考える機会が欲しいと思うようになり、春季の学部内入試を受けて進学しました。

文系修士ということもあり、当初は就職を心配していましたが、学部のゼミからお世話になっている菅幹雄先生のご紹介もあり、それまで勉強してきた経済統計学を必要とする会社に就職することができました。このような機会を得ることができて、菅先生および大学院には大変感謝しています。

大学院進学は、今はまだ少数派かもしれませんが、コロナが常識を変えたように、未来では常識になるかもしれません。ぜひ自身の興味の赴くままに大学院に進学していただければと思います。

理系院生のグローバルな活躍を目指せる場

情報科学研究科 情報科学専攻 修士2年
天野 里奈さん
情報科学部 コンピュータ科学科卒業



新 型コロナウイルス感染症（コロナ）の影響で、学部4年次に予定していた派遣留学に行けず、その留学資格を引き継げたことから大学院への進学を決めました。内部進学者には入学金の免除制度があったことも、決意した理由の一つです。本学ではグローバルに活躍するためのサポートが充実しています。2022年9月から半年ほど、チェコ共和国にあるチェコ工科大学に留学する予定です。ヨーロッパの工科大学の中でも歴史のあるチェコ工科大学で学ぶ機会を得ることができたのは、大学の派遣留学制度によるものです。

情報科学研究科には多くの留学生が在籍しているので、英語で開催される授業が数多くあります。所属研究室にも留学生が複数いるので、日々の会話や研究では主に英語を用いています。私自身の研究も英語で行っているため、日々大変なこともあります。とても充実した大学院生活を送っています。

皆さんも、専門分野だけでなく英語も学べる大学院への進学を検討してみてください。

大学院への進学に興味を持ったら

学部から大学院の研究科へと進学を望む学生向けに「学内者向け入試」「学内推薦」など、一般の受験者とは別枠の優遇入試制度を設けている研究科もあります（11ページ右欄参照）。詳細は各大学院の窓口までお問い合わせください。また、全ての研究科でオンラインの進学相談会やセミナーを実施します。詳細は大学院ウェブサイトをご覧ください。



進学相談会などの情報について

最先端の分野がそろ

大学院



本学は大学院を有し、さらに学びを深めたい人への教育指導や研究支援、就職サポートなどの体制を整えています。
大学院で学ぶことのできる内容やサポート体制、進学するために必要な事項などを紹介します。

ています。小中学校の「義務教育」では事実上足りず、ほとんどの人が高校に進学するようになり、大学進学率も右肩上がりです。さらに近年は多くの分野において大学院に進学する人が増え、企業も修士課程や博士課程を修了した人を、それにふさわしい待遇で迎えるようになってきています。

修士や博士になることが就職で有利（あるいは必須）であるという労働市場の形成には、日本は大きく立ち遅れてきたと言われます。それでも「ジョブ型雇用」への移行が進み、多くの職業部門では、単に一流の大学を卒業したことではなく、この資格を持っているからこの仕事ができるという考え方に変化しています。

その究極の「資格」こそ博士号です。職業もある程度以上のランクになると、特定の技能や技術を運用できるだけではなく、必要とされます。欧米を見ると、その証左として採用されている「資格」は博士号なのです。自ら問題を立て、自ら調べて、説得的な論理の運びで誰にも納得できる結論を出す、という学術的な操作ができることこそが、ありとあらゆる仕事を高度にこなすための基本の能力だからです。

学生の皆さんも、状況が許せば、社会に出る前にさらに大学院で（少なくとも修士課程で）学ぶことを真剣に考えては

いかがでしょうか。また、すでに社会人となっている方々も、さらなるキャリアアップのためのリカレント教育の場として、大学院をお考えになつてはいかがでしょうか。私が所属している公共政策研究科は社会人大学院ですが、学部から進学した院生たちも、社会人院生に交じって切磋琢磨して一緒に学んでいます。「そう言われても、どんなところからこないし、学費もかかるし」と逡巡されるでしょうか。

大学院では、今年度からオンラインで「進学相談会」を再開していますので、覗いてみてください。「履修証明プログラム」も展開しており、大学院が開設しているものもあります。例えば、公共政

法政大学大学院の特色

最先端の分野がそろ多彩な知の空間

教育のグローバル化を推進

国際的な教育・研究水準の向上を目指し、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図っています。

第一線で活躍する教授陣による少人数教育

授業のほとんどは少人数のゼミ形式で、自分の研究課題に適した指導教授について論文指導を受けられます。

多様な研究科を設置

15研究科、31専攻、3インスティテュートを設置しています。（専門職大学院は2研究科）

策研究科の「SDGs Plus 履修証明プログラム」やイノベーション・マネジメント研究科の「ヘルスケア・マネジメント講座履修証明プログラム」、情報科学研究科の「情報科学・データサイエンス・AI履修証明プログラム」（2022年9月開設予定）などで、一定の分野について系統的に選り出された科目群からいくつかを履修して学修したことを証明するものです。これをきっかけに大学院に進学される方々も増えています。まずは履修証明プログラムに参加してみてください。

21世紀の文明は、多くの人々が大学院進学を必要とするところまで進展しています。



分野	研究科名	専攻名	概要	学内志向(入試・学内推薦)
人文科学分野	人文科学研究科	哲学専攻	古代ギリシャ哲学、近代ヨーロッパ哲学、現代哲学、論理学などの西洋哲学を中心に教育研究を進めています。	
		日本文学専攻	古代から近代まで各時代の文学、言語、芸能を探究。文芸批評、中国・沖縄文学などの関連科目を幅広く配置しています。	
		英文学専攻	英米文学、演劇、英語学、言語科学などの専門教育を行います。学内または提携大学院の豊富な科目も選択できます。	○
		史学専攻	日本・東洋・西洋史の3分野の広範な授業を開講。伝統的な研究方法を重んじながら、最前線の研究成果も取り入れています。	
		地理学専攻	自然地理と人文地理の2本柱で、幅広く複合的な領域をカバーします。どちらかに重心を置きつつ、個別の研究を進めます。	○
		心理学専攻	知覚・睡眠・発達・発達臨床・言語・教育・行動分析・犯罪・社会・記憶・学習・音声学といった多様な領域を指導します。	○
	国際日本学インスティテュート	国際日本学専攻	人文科学研究科を横断する形で設置・運営され、専攻にとらわれない多彩な授業が展開されています。	
社会科学分野	国際文化研究科	国際文化専攻	文化の「国際性」と「情報性」を研究し、インターカルチュラル・コミュニケーションを探究します。	○
	経済学研究科	経済学専攻	経済学、統計学、経済史などの基本科目から経済地理や社会政策など幅広く選択でき、上級レベルの経済理論（ミクロ・マクロ）も開講しています。	○
	法学研究科	法律学専攻	現代社会の多様な問題を法的に分析し、法的な思考過程を経て最善の解答を生み出す能力を養成します。	○
	政治学研究科	政治学専攻	オーソドックスな政治学から、都市政策、フェミニズムやジェンダー論など新領域の独創的な科目まで幅広く解説します。	○
		国際政治学専攻	時代の要請に応える、世界政治、国際開発、地球環境、平和構築、人間の安全保障などの諸分野の研究教育が充実しています。	○
	社会学研究科	社会学専攻	日本だけでなく、世界で問われている21世紀の社会的課題を認識し解明するために、「人間論的関心を柱にした社会問題の社会学」を中心に、隣接する諸科目を配して研究活動を行います。	○
	経営学研究科	経営学専攻	経営の基礎から応用までの理論的なアプローチに加え、現実の企業活動や社会現象を実証的に分析するためのさまざまな手法が学べます。	○
	人間社会研究科	福祉社会専攻	「福祉」や「まちづくり」に関する高度職業人（ソーシャルワーカー、政策立案者など）、研究者の養成を目的としています。	○
		臨床心理学専攻	心理臨床の分野で活躍する高度職業人（公認心理師、臨床心理士）と、臨床心理学の実践と科学に関わる研究者の養成を目的としています。	○
		人間福祉専攻	次代の人間福祉を総合的に実現するための理論的かつ実践的研究者を養成することを目的としています。	
	政策創造研究科	政策創造専攻	豊かで持続可能な地域社会を実現する革新的な政策を研究・デザインし、それらを実現できる人材を育成します。	
	公共政策研究科	公共政策学専攻	グローバル化・知識基盤社会、人口減少社会における総合的な政策提言能力を身に付けた高度職業人、研究者を養成します。	
		サステイナビリティ学専攻	持続可能な循環型社会の構築に貢献できる人材を養成します。	
自然科学分野	キャリアデザイン学研究科	キャリアデザイン学専攻	最先端のキャリアデザイン学分野を体系的に学べる日本で初めての研究科です。	
	連帯社会インスティテュート	連帯社会インスティテュート	新しい地域社会や国づくりの発展に貢献できる「新しい公共」の担い手を養成します。	
	スポーツ健康学研究科	スポーツ健康学専攻	人文社会科学から自然科学まで、多面的なスポーツ・健康について教育研究を進めています。	○
	情報科学研究科	情報科学専攻	ITを通じ、情報化社会、知識社会と呼ばれる、これからの新しい時代を築く人材を養成します。	○
	デザイン工学研究科	建築学専攻	建築に関わる7つの項目の素養や能力を養い、建築と都市に関わる専門職業人、教育・指導者、研究者を養成します。	○
		都市環境デザイン工学専攻	社会基盤などを設計・建設・整備する手法を習得し、環境を保全・再生していくことのできる技術者を養成します。	○
		システムデザイン専攻	さまざまな側面から総合的にユーザビリティを追究。複雑な社会に存在する諸問題に対応できる技術者や研究者を育成します。	○
	理工学研究科	機械工学専攻	材料力学、熱力学、水力学などの専門科目や、機能性材料、宇宙工学、環境エネルギー工学など先端的な研究指導を行います。	○
		電気電子工学専攻	電気電子工学分野に重点を置き、最新設備を利用しながら現代の科学技術を支える先端技術の基礎から応用まで研究します。	○
		応用情報工学専攻	ICT、クラウド、ユビキタスネットワークなど高度情報化社会を支える実用的かつ高度な最先端システムを研究分野にしています。	○
		システム理工学専攻 創生科学系	理工学の基幹をなす物理科学、情報学の社会基盤である知能科学、融合領域の人間科学について研究を行います。	○
		システム理工学専攻 経営システム系	数理、人間を要素として、これらをつなぎ、付加価値の高いシステム構築法を研究します。	○
		応用化学専攻	幅広い産業界において化学の専門的な知識を生かして、持続的社会構築に貢献できる人材養成を行います。	○
	総合理工学インスティテュート	生命機能学専攻	生命機能学と植物医科学の2つの領域、ゲノム、タンパク質、細胞、生命システム、基盤植物医科、実践植物医科の6分野について研究します。	○
		総合理工学インスティテュート(IIST)	グローバル社会において総合理工学分野のリーダーとして活躍することができる人材を養成します。	

専門職大学院

研究科名	専攻名	概要
法務研究科(法科大学院)	法務専攻	現代社会に生じる多様な法律問題に対して適正かつ迅速に対応できる、創造的応用力を備えた市民のための法曹を養成します。
イノベーション・マネジメント研究科	イノベーション・マネジメント専攻	基礎・専門・応用に分かれた高密度カリキュラムと、実践力を備え、革新を起こすことができるビジネスのプロフェッショナルを育てます。

問い合わせ先

【大学院】 <https://www.hosei.ac.jp/gs/>

【市ヶ谷キャンパス】
人文科学研究科、国際文化研究科、経済学研究科、法学研究科、政治学研究科、社会学研究科、経営学研究科、公共政策研究科、キャリアデザイン学研究科、連帯社会インスティテュート

●大学院事務部 大学院課
TEL: 03-5228-0551 E-mail: i.hgs@ml.hosei.ac.jp

政策創造研究科
●大学院事務部 大学院課 政策創造研究科担当
TEL: 03-3264-6630 E-mail: rpd-j@hosei.ac.jp

デザイン工学研究科
●大学院事務部 大学院課 デザイン工学研究科担当
TEL: 03-5228-1347 E-mail: jsd@hosei.ac.jp

【多摩キャンパス】
人間社会研究科
●多摩事務部 大学院課 人間社会研究科担当
TEL: 042-783-2809 E-mail: fukushi@hosei.ac.jp

スポーツ健康学研究科
●多摩事務部 大学院課 スポーツ健康学研究科担当
TEL: 042-783-3003 E-mail: sports@hosei.ac.jp

【小金井キャンパス】
情報科学研究科、理工学研究科、総合理工学インスティテュート (IIST)

●小金井事務部 大学院課
TEL: 042-387-6014 E-mail: hge@hosei.ac.jp

【専門職大学院】
https://www.hosei.ac.jp/kyoiku_kenkyu/senmon/index.html

【市ヶ谷キャンパス】
法務研究科
●大学院事務部 専門職大学院課 法科大学院担当
TEL: 03-3264-9039

イノベーション・マネジメント研究科
●大学院事務部 専門職大学院課
イノベーション・マネジメント専攻担当
TEL: 03-3264-4341

■学費 ①入学金 本学出身者は無料(政策創造研究科 修士課程は除く)。
②授業料 各種助成金・奨学金制度を用意しています(下記参照)。

単位: 円

学費一覧(年額) (2023年度予定)		人文科学・国際文化・経済学・法学・政治学・ 社会学・経営学・人間社会・公共政策・ キャリアデザイン学研究科・連帯社会インスティテュート		スポーツ健康学 研究科		情報科学・デザイン工学・ 理工学研究科・IIST		政策創造研究科	
		修士	博士後期	修士	博士後期	修士	博士後期	修士	博士後期
入学金	自校	—	—	—	—	—	—	135,000	—
	他校	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	270,000	270,000
授業料		570,000	400,000	644,800	470,000	770,000	600,000	750,000	750,000
教育充実費		80,000	60,000	100,000	100,000	100,000	100,000	135,000	135,000
実験実習費		心理学専攻 臨床心理学専攻 50,000	—	100,000	100,000	100,000		—	—
		地理学専攻 20,000				生命機能学専攻植物医科学領域のみ 160,000			

授業料等は第一期(春学期)(4月末日まで)・第二期(秋学期)(9月末日まで)の2回に分けて納入していただくことになります。ただし、1年次(初年度)の第一期分は、入学手続き時に納入していただくことになります。

※上記の他に専攻によって2,000～4,000円程度の諸費用が必要です。
※年間休学在籍料100,000円。ただし春学期、秋学期休学については半分(2分の1)とします。
※自校とは、本学の学部卒業生または大学院修了者を指し、他校とはその他の者を指します。
※経済学研究科修士1年制コースの授業料は860,000円。入学金、教育充実費は上表のとおりとします。
※総合理工学インスティテュート(IIST)の授業料は880,000円(修士課程)、600,000円(博士後期課程)、入学金は200,000円(修士・博士後期課程)、教育充実費は100,000円(修士・博士後期課程)、実験実習費は80,000円(修士・博士後期課程。生命機能学専攻植物医科学領域のみ140,000円)とします。
※スポーツ健康学研究科のみ授業料には昼食代が含まれています。
※人文科学研究科地理学専攻の実験実習費は国際日本学インスティテュートを除きます。

■修学支援、留学・研究奨励制度 大学院生の修学に対して、経済的な支援を目的とした制度を設けています。

名称	対象者(応募資格)	給付額
法政大学100周年記念大学院修士課程奨学金	修士課程在学生(標準修業年限内)	200,000円
法政大学大学院博士後期課程研究助成金	博士後期課程在学生(標準修業年限内)	文系研究科 320,000円 理系研究科 480,000円
法政大学大学院海外留学補助金 ※政治学研究科国際政治学専攻特別海外留学奨学金を統合して拡充	修士課程・博士後期課程在学生	留学した大学等において履修した科目のうち、専攻が適当と認めたものは、本学大学院の課程修了に必要な単位・科目として認定。
法政大学大学院学生論文掲載料補助		上限200,000円
法政大学大学院学会等発表補助金		国内 上限30,000円 国外 上限100,000円
法政大学大学院諸外国語による論文等校閲補助		上限100,000円
法政大学大学院学生研究補助金		各専攻の学生研究に要する書籍、消耗品、印刷費等の費用を補助。
法政大学大学院現地調査実施費用補助(国内・国外)	修士課程・博士後期課程在学生 (市ヶ谷、多摩キャンパスの研究科)	国内 上限30,000円 国外 上限70,000円
法政大学大学院優秀博士論文出版助成金	博士後期課程修了生(修了後5年以内)	上限1,000,000円

※在学生について、休学者等は除く。詳細は、入学後、募集要項でご確認ください。
※その他、学外奨励金制度として、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・民間奨学財団奨学金などもあります。

本学の大学院では、キャリアセンターを中心に、きめ細かいサポートを積極的に展開しています。

学生が持っている資質と能力を最大限に引き出せるように、日常的な就職相談はもちろんのこと、さまざまな形で就職活動を支援する企画・イベントを用意しています。

【キャリアセンターの主なサポートプログラム】

- ・模擬面接
- ・学内企業説明会、学内で実施される選考会
- ・OB・OG、社会人との交流
- ・他大学合同模擬グループディスカッション

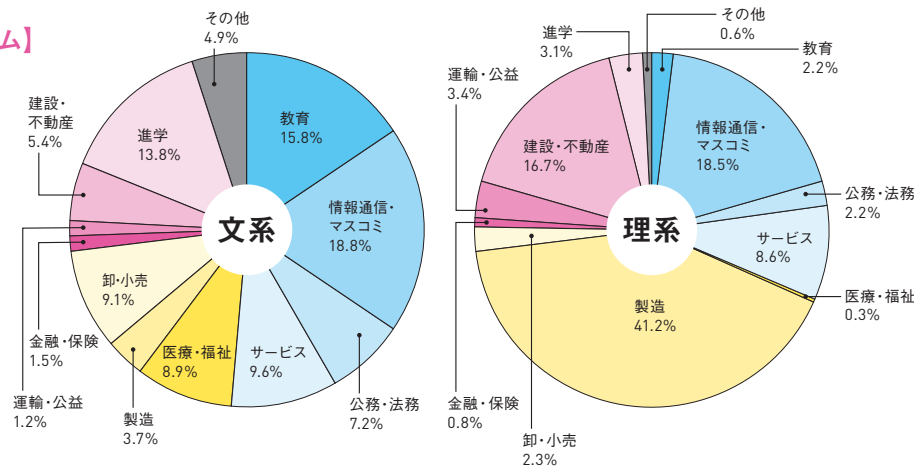
【就職】 ■就職内定の傾向(過去4年間/2017～2020年度)

文系進路情報

教育をはじめ、サービス、製造、公務員、情報通信・マスコミなど、進路・就職先業種は多種多様。各業界の有名企業で活躍する修了生も数多く見られます。社会人学生の多い本学大学院には、さまざまな環境や分野で経験を積んだ方々が集まり、お互いの知識や情報、意見を交換し合うことで、より高い専門性と広い視野を養っています。

理系進路情報

過去4年間で見ると半数弱が製造業に就職。主に研究職や開発職などの専門職において、理系ならではの高度な専門知識・技術を発揮しています。



就職内定者業種別割合(※)

※2017～2020年度を合算



HOSEI
Graduate Interview
卒業生
インタビュー

自分で選んだ道を、自分らしく歩む それが私の輝き方

車いすフェンシング日本代表

河合 紫乃さん

学生時代も社会人になってからもバドミントン選手として活躍していた河合紫乃さん。手術の後遺症で左脚が麻痺し、車いす生活となりましたが、大学時代の仲間が活躍する姿を目にして、再びスポーツにチャレンジする決意をしたと言います。

このページでは、法政大学憲章の「自由を生き抜く実践知」を体现している本学の卒業生を紹介していきます。

車いすフェンシングの醍醐味は
スピードと駆け引き

車いすフェンシングの日本代表として、2024年のパリパラリンピック出場を目指しています。車いすのフェンシングは、車いすを固定してプレーするため、後ろに下がることはできません。常に相手と至近距離で剣を突き合わせることで、まばたきが命取りになるほどのスピードと高い集中力が求められます。また、フェンシングの醍醐味は相手との駆け引きや心理戦にあって、その部分では、以前バドミントンで培った勘所を生かしています。

選考レースへの乗り遅れや、コロナ禍の影響で国際試合が相次いで中止になったこともあり、東京2020パラリンピック大会への出場はかないませんでした。その当時はとても悔しかったですが、今は、開催国枠で何とか出



2019年11月に行われたワールドカップオランダ大会に出場し3勝を挙げた(左が河合さん)。オーダーメイドの車いすを、床に固定して戦う

場できたという形ではなくてよかった、自力でパリ大会への出場をもぎとって堂々と戦いたい、という思いでトレーニングに励んでいます。

以前は、一定以上の圧力で相手を突かないとポイントが得られない種目「エペ」をメインとしていましたが、私は骨や関節が弱く、体への負担を減らす意味もあって、剣がより軽く、相手に触れただけでポイントを得られる「サーブル」へ転向中です。車いすフェンシングをやるうと考えた時から、法政大学のフェンシング部出身の方にはいろいろお世話になっていて、現在も、二度オリンピックに出場している長良将司さん・円さんご夫妻にサーブルの指導を受けています。

バドミントン一色の大学4年間

小学校からバドミントン中心の生活で、大学でもトップレベルの環境で競技を続けたいと考え、スポーツ推薦で法政大学に入学しました。レベルも意識も高い仲間に負けないように練習に



モデルとしてファッションショーにも登場。現在はフェンシングに専念しているため、休業中

励んでいましたが、1年次の夏に股関節を痛め、手術を受けました。2年にわたるリハビリ期間は、ライバルに遅れをとる不安、練習できないストレスに押しつぶされそうでした。4年間という時間を与えてくれた周囲の期待に結果を出して応えたい、その一心で競技に復帰し、インカレの団体戦で優勝を果たした時に味わった感動は、今でも忘れられません。

それでも、大学で「やり切った」という感触を得られなかったため、子どもの頃から憧れていた実業団選手になる道を選びました。ところが、全日本選手権大会を目指す中、再び股関節を痛めて手術することになったのです。6週間で練習に復帰する予定でしたが、手術は数度に及び、その後遺症で左脚が麻痺し、自分で動かせない状態になりました。いきなり歩けなくなり、バドミントンも仕事も失ってしまい、誰にも会いたくない、バドミントンなんて見たくも聞きたくもない、そんな日々が2年近く続きました。

再び前を向かせてくれた 二つの出来事

そんな時テレビで目にしたのが、車いすに乗ったモデルさんです。その笑顔がとてもすてきで、「この状態から抜け出せるきっかけになるかもしれない

い」とモデルに挑戦してみたり、一人暮らしを始めたりました。撮影でその方とご一緒する機会があり、どうして笑えるのかと尋ねたら、「時間がたてば分かる。もう少しの辛抱だよ」と言われたのです。

その時は理解できませんでしたが、今なら分かります。自分の状況を受け入れられれば、明るく笑って前へ進めるのだと。脚の悪い私が車いすを使うのは、視力の悪い人が眼鏡をかけるのと同じこと、いつの間にか自分を障害者とは思わなくなりました。

そして、スポーツへの情熱に再び火を付けてくれたのが、大学で共に学生日本一となった田中志穂さんでした。彼女が世界大会で優勝した姿を見て、「もう一度輝きたい。私が自分らしく生きるにはスポーツしかない」という思いが込み上げてきたのです。

自分で選んだ道を 自分らしく進んでいく

周囲には、私の挑戦を不安視する声もあります。私自身、全てを受け入れられたわけではなく、正直言って、焦りや障害への葛藤もあります。それでも、一度きりの人生、自分がやりたいと思うことをやり、結果を出して自分の選択が間違っていないかったことを証明するしかないと思い、今はフェンシ

ングに人生を懸けています。

バドミントンでもかなり努力をしていたつもりでしたが、今のフェンシングへの覚悟や意気込みはそれとは比べものになりません。競技を続けられるようにクラウドファンディングで資金を募る、多くの人に応援してもらえようというメディアに売り込むなど、自分から状況を変え、動かしていくようにもなりました。

今年の11月には、パリパラリンピックの選考レースがスタートします。2024年にメダルを獲得できたら、「障害者になっても自分らしく生きられる、輝ける」と言い切れる。そう信じて、たくさんの方の力を借りながら、「紫乃の道」を歩んでいるところです。



Kawai Shino

1992年富山県生まれ。2014年キャリアデザイン学部を卒業後、北國銀行バドミントンチームに入部、S/Jリーガーとなる。2018年に車いすフェンシングに転向、アスリートモデルも務める。2020年4月より株式会社富山環境整備に所属。





数値シミュレーションで 想定外に備える

デザイン工学部都市環境デザイン工学科 教授

日本の自然災害リスク

日本の国土は、地震、津波、台風、豪雨、洪水、土砂災害、火山噴火など、さまざまな自然災害が高頻度で発生する厳しい地理的条件下にあります。コロナ禍の影響で人口の流出入の傾向が変化したとはいえ、依然として日本の人口、資本は大都市圏に集中しており、さらには、南海トラフ地震、首都直下地震などの巨大地震の発生も切迫しています。国連大学の「世界リスク報告書2016年版」でも、日本は、世界で自然災害リスクが最も高いグループに入っています。

冗長性と強靱性

一方、1995年の阪神・淡路大震災、2011年の東日本大震災などの経験を経て、日本の土木・建築構造物の、補強

技術や復旧技術を含む耐震技術は飛躍的に向上しています。また、前述の震災の経験は土木・建築構造物の耐震設計の考え方にも影響を与えています。すなわち、単に想定する地震動に耐え得る強度を確保すればいいというのではなく、建設地点で起こりうる最大級の地震動、あるいはその想定を超える極大地震動が作用した場合でも、損傷を一定程度は許容しても構造物の機能は担保する（例えば新幹線の鉄道高架橋であれば、新幹線を止めずに運行できるなど）、早期に低コストで復旧できる、あるいは部材単体としては破壊しても構造システムとしては機能を保つなど、冗長性（リダンダンシー）や強靱性（レジリエンス）と呼ばれる性能を確保することが要求されるようになってきました。

なお、一般的に土木・建築構造物は現

かってきました。

国際ベンチマーク解析

鉄筋コンクリート構造物のシミュレーションに関する研究は、古くから行われています。計算機性能の飛躍的な向上により、近年になって高解像度で大規模な3D計算や、内部の水分移動、熱伝導、化学反応などの連成シミュレーションも可能になったものの、特に原子力発電施設のシビアアクシデント（重大事故）に対する安全性評価あるいは長期安全性評価のために、さらに精度の高い高度なシミュレーションモデルの開発が望まれています。

その取り組みの例として、例えばフランスや、経済協力開発機構／原子力機関（OECD／NEA）などが中心となつて、シミュレーション手法の妥当性確認用のベンチマーク実験を実施するとともに、世界中の研究者が、実験結果を隠された状態でシミュレーションを実施し、各研究者のモデルの解析精度を評価する試み、いわゆる国際ベンチマーク解析が近年盛んに行われています。筆者もこれまでに、フランスの国家プロジェクトである「ComCrack2」（鉄筋コンクリート壁の破壊解析、ひび割れ詳細情報に対する予測技術の現状の評価が目的）や「SMART2013」（準実物大鉄筋コンクリート原子炉建屋の地震応答解析）、OECDの原子力施設安全委員会（CSN

山本佳士

地の一品受注生産品であって、実際に実物の耐震性能試験を行うのは不可能です。既に実績が多くある比較的単純な構造物を除いて、設計した構造物が想定以上の作用を受けてどのように振る舞うかを予測することは難しく、復旧性、冗長性、強靱性といった性能を的確に評価する方法の確立が課題として残されています。

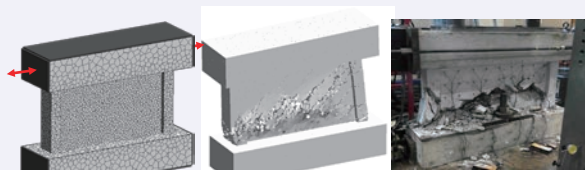
鉄筋コンクリート構造物の劣化・破壊シミュレーション

前述の課題に対して、筆者は鉄筋コンクリート構造物を対象としたシミュレーションモデルの開発と応用により解決を試みています。専門的な話になりますが、現在は、鉄筋コンクリート構造物のシミュレーションといえば「有限要素法（Finite Element Method, FEM）」と呼ばれる手法が主流です。FEMは連続体力

I）が開催した「ASCET」（アルカリ骨材反応により劣化した鉄筋コンクリート壁の破壊解析、下図）などの国際ベンチマーク解析に参加しています。いずれのプロジェクトでも、他の研究機関がFEMを用いているのに対し、前述の不連続挙動の再現が得意なRBSMを適用しているのは筆者のみでした。手前みそになります。FEMでは不連続挙動の詳細な再現には限界がある一方、筆者のモデルではひび割れや破壊現象を高解像度、高精度で再現しており、ワークショップの報告書や関連論文などで高い評価を得ています。

その後も、航空機・竜巻飛散物衝突、火災・高温作用、腐食などの劣化作用を受けるコンクリート構造物の応答を再現できるよう、同手法の拡張・高度化を続けており、各種の劣化、損傷を経て、最終的に想定以上の外乱を受けて崩壊していく過程までを再現できる手法として、あと少しというところまで来ています。

数値シミュレーションの魅力は、仮想の時空間上で、実験では観察できない、あるいは実現できない領域でも自由に安全性を評価できることです。これまでの経験でも、「外から見えない内部のこの亀裂が起点になって破壊に至るのか」「それならここを補強すれば、強度を飛躍的に向上させられる」など、シミュレーション結果から、たくさんの新しい知見、アイデアが得られています。



大きさと方向が周期的に変化する荷重を与えた鉄筋コンクリート壁の破壊状況を解析（ASCET phase-II）。左はRBSMの要素分割図、中央はRBSM解析画像、右は試験体の実物写真。RBSMは供試体の事前の劣化の有無が破壊パターンに及ぼす影響を再現していた。上の図はその一例。



Yamamoto Yoshihito

1979年生まれ。博士(工学)。2002年名古屋大学工学部卒業、2004年同大学大学院工学研究科博士前期課程修了。防衛大学校助教、名古屋大学大学院准教授を経て、2020年に法政大学准教授に着任。2021年10月より現職。専門は構造工学および計算工学。日本計算工学会よりグラフィクスアワード特別賞、日本コンクリート工学会より同学会賞論文賞、土木学会より構造工学シンポジウム論文賞およびAI・データサイエンス奨励賞などを受賞。

販売実績データなどを分析して 消費者行動を科学的に解明

データを分析して消費者行動を予測するマーケティング・サイエンスに取り組んでいる猪狩良介准教授。
ビジネス現場で役立つ実践知の構築に意欲を燃やしています。

経営学部経営戦略学科 准教授 猪狩 良介



企業が収集したデータから
消費者の購買行動を分析

専門分野は、統計学、マーケティング・サイエンスなどです。

マーケティング・サイエンスとは、データ分析などの科学的なアプローチから、顧客ニーズの把握や市場の傾向予測などのマーケティング活動に取り組む研究分野です。

具体的には、企業が収集している販売実績データや行動履歴データに基づいて消費者の行動を分析し、商品を購入するタイミングを予測するモデルの開発や広告効果の科学的な解明などを手掛けています。

インターネットの普及に伴い、消費者が品物を購入する行動は多様化しています。大別すると店舗での購入とインターネットからの購入になりますが、この二つは分離しているわけではなく、検討してから店頭で購入したり、店頭で実物を確かめてからインターネットで価格を比較して購入するなど、複合的に活用していることも増えています。こうした環境を考慮した上での購買行動の分析も手掛けています。

収集したデータを科学的に分析するという意味では、近年注目されているデータ・サイエンスに近い研究でしょ

う。ただ、データ・サイエンスが予測精度の高さを求めるのに対して、マーケティング・サイエンスは背後のメカニズムを把握し、要因や原因を見いだすことを重視します。

例えば、ある商品の売り上げが急激に伸びた場合、原因として考えられることは一つではありません。他社の類似製品からのスイッチが増えた場合もあれば、その商品に対する消費者のロイヤルティー（忠誠度）が上がったことが原因ということも考えられます。複合的にデータを分析することで、その結果に至った要因や消費者の行動メカニズムを探るのです。

現状の研究では、データを頂いた企業に分析結果をフィードバックするというスタイルが主なので、今後は分析した予測結果を現場で検証することで質を向上させ、マーケティング施策の検討に貢献していきたいですね。

多くの人と協力し合いながら
研究の質を高めていきたい

2018年から、経営学部の教壇に立つようになりました。

経営分野では実務に直結した研究を手掛けることが多いですが、統計学やデータ・サイエンスの手法を加えることで、さらに実践的なアプローチが可能になります。法政大学が大学憲章で



2019年には、会社員時代の同僚をゲストスピーカーとして招き、広告効果に関する講義を実施。学生の関心が高い授業になった



2022年度のゼミ生との集合写真。ゼミでは、学生が自分たちの力で課題を解決する力を培えるように、学生主体の活動を見守っている



学生時代に米国シカゴを訪れた際の一枚。海外の研究者と初めて交流したことで、良い刺激を受けた

掲げている「実践知」の育成に役立てるのではないかと考え、お世話になることを決めました。

法政大学の経営学部にはマーケティング分野の研究で優れた実績を残されている先生方が多いので、良い刺激も受けています。

私が手掛ける研究では、分析データを企業から提供いただくことが多く、企業との連携が欠かせません。企業との共同研究など、学外とのつながりを推奨し、応援してくれる大学の研究環境にはとても感謝しています。

マーケティング・サイエンスは学際的な知見が必要になる学問分野です。人間の消費行動を分析するためには、目には見えない意識を理解するためにも、心理学の知見は欠かせません。さらに、市場を理解するための経済学、効率的なデータ処理するための情報科学なども必要です。

総合大学である法政大学には、専門家として、これらの知見をお持ちの先生方がいますので、機会があれば協力して共同研究を手掛けることにもチャレンジしたいと考えています。

実務に役立つ応用力を
身に付けてほしい

統計学を駆使したマーケティング・サイエンスは、理系に分類される情報

Igari Ryosuke

1985年8月生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業、名古屋大学大学院経済学研究科産業経営システム専攻修士課程修了、慶應義塾大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。株式会社ビデオリサーチ、日本学術振興会特別研究員(DC1)、専修大学人間科学部非常勤講師、慶應義塾大学総合政策学部非常勤講師などを経て、2018年本学経営学部経営戦略学科専任講師に着任。2020年から現職。理化学研究所AIPセンター客員研究員。



創部22年目を迎えるジャズダンスサークルONE。ONEはアットホームな雰囲気、居心地の良さが自慢のインカレサークルです。と胸を張るのは、SNS（交流サイト）での情報発信や印刷物作成などの広報活動を担う花村さん。

「大学に入ってからダンスを始めた初心者ですが、サークルの卒業生でもあるインストラクターの方が丁寧に指導してくれます。舞台上上がってスポットライトを浴びて踊った時は感激でした」と笑顔で語ります。

ジャズダンスはバレエの要素を取り入れ、感性のままに表現していくフリースタイルのダンス。ONEでもメンバーの自主性を尊重し、さまざまなジャンルを取り入れています。その成果は、例年9月に開催する自主公演「ONE LIVE」で披露。幹部学年の有志が中心となって演目を決めてダンスの振り付けを手掛け、曲のイメージに合った衣装も自分たちで用意するなど、手づくり感のあるライブを演出しています。

ヒップホップダンスの経験を生かし、ストリート系ダンスの振り付けに初挑戦しようと意欲を燃やしているのは岡田さん。本番前の恒例行事も楽しみだと言います。「曲ごとに、振付担当者とダンスに参加した演者の間でメッセージを送り合います。

ジャズダンスサークルONE

思いを「一つ」に
自由な感性で表現された
ジャズダンスを楽しむ

クラブ・サークル

※今回はオンラインで取材しています



上段左から、武藤恵実さん（キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科3年／代表）、花村佳緒さん（人間環境学部人間環境学科3年）、下段、岡田愛佳さん（人間環境学部人間環境学科3年）



練習の成果を披露する自主公演「ONE LIVE」を例年9月に開催。写真は2021年に開催した「ONE LIVE 2021」での一枚



2021年12月に開催されたダンスプロジェクト「a」主催のコンテストに参加した際のステージ。おそろいの衣装で、一糸乱れぬ息の合ったダンスを披露した



姉妹サークルが集って新体制をお披露目する合同練習会を例年3月に開催。2022年度の新しいチームも笑顔あふれるアットホームな雰囲気

演者は振付担当者に、振付担当者は演者一人一人に手紙を書くのです。初めて手紙をもらった時、細かいところまで見ていてくれたことが感じ取れて、とても感激しました」と心温まる思い出を振り返ります。

コロナ禍で合宿が中止になるなどの影響はあったものの、年間を通じてイベントは充実。インカレサークルらしく、他大学との交流も盛んです。都内9大学のジャズダンスサークルが、姉妹サークルとして集う団体「ダンスプロジェクト『a（アルファ）』」にも所属。新入生のお披露目を兼ねてサークルごとにダンスを披露する「合同練習会」や、サークル対抗のジャズダンスコンテスト、サークルの枠を超えてチームを編成して踊る「a公演」などのイベントに参加しています。

「今年の目標はチーム力を上げること」と語るのには、代表の武藤さん。新入生が参加してくれて、チームの人数が大きく増えたのはうれしい限りです。名前の通り、チーム全員が「一つ」になることを目指して、お互いをサポートしながら、一緒に成長していきたい。代表を務める以上、みんなに背中を追ってもらえる存在になれるよう努力し続けていきます」とチームを率いるリーダーとしての決意を語ります。

社会的排除や人権問題などに関する文献調査や、関係者への聞き取り調査を通じて、ゼミ生の関心の芽を育み、3年かけて卒業論文へとつなげている別府ゼミ（ジャーナリズム論。在日外国人にまつわる諸問題に取り組んでいるのは村木さん。「在日朝鮮人に関する実態を知ろうと、高麗博物館や東京朝鮮第九初級学校などの関連施設を訪問して調査しました。成果発表は終わりましたが、まだやり切っていないので、リサーチ力を高めて、さらに理解を深めたいです」と、今後の研究計画を練っています。

ジャーナリズムと教育に関心を寄せる村上さんは、「弱者の声を聞き漏らしたくない」という思いから「LGBTQと家族」「いじめ問題」などに着手。「当事者にお話を聞くなど、背景を把握するための調査を進めながら、実践と理論を身に付けようと努めています。生きづらさを感じる人に手を差し伸べる方法を探し、自分の将来につなげたい」と語ります。「学生には、自ら問いを立て、内省しながら自分の疑問や違和感の根源は何かを見つけ出してほしい」と語る別府教授。その思いに応えるように、学生らは本ゼミの時間以外も、自発的にサブゼミを実施して考察を深めるなど、精力的に活動を続けています。それらの研究成果は、例年11月に

社会学部メディア社会学科 別府三奈子教授ゼミ



上段左から別府三奈子教授、金崎龍ノ介さん（社会学科4年）、山本誠さん（社会政策科学科4年）、下段左から村木健太さん（メディア社会学科3年）、村上遥香さん（メディア社会学科3年） *全員、社会学部

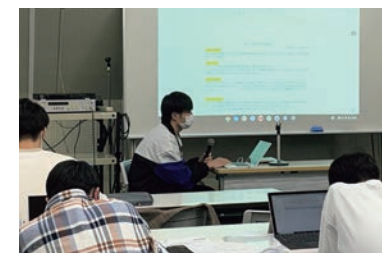
社会問題に触れ、
自身に芽生えた違和感の
根源を見つけ出す

ゼミナール・研究室

※今回はオンラインで取材しています



例年、春学期は共通テキストを輪読し、専門的な視野の形成を図っている。2022年度は「＜被爆者＞になる」（せいか書房、2016年）を題材として議論している



緊急事態宣言が解除された、2021年11月に八王子の大学セミナーハウスで合宿を開催。各自が手掛けている研究を発表し、意見交換を重ねた



フィールド調査なども、学生主体で精力的に行っている。写真は、2019年5月に実施した、長崎県佐世保市の釜蓋地戦没者慰霊祭での聞き取りの様子

開催される社会学部研究発表会で報告する他、論文集を作成するなど、さまざまな形で集約しています。

2021年度には、太平洋戦争末期にフィリピンで行われた「ルソン島の戦い」を知って心を動かされた学生らが自主的に現地を調査し、その過程を記録したドキュメンタリーフィルム「ルソンの祈り」順子ちゃんとの戦場をたどって（40分）を企画・制作。映像コンクール『第41回』地方の時代「映像祭」にて市民・学生・自治体部門の優秀賞を受賞するなど、高い評価も得ました。

その作品に感銘を受けたという金崎さんは、クルド人民族問題や刑事事件の加害者の社会復帰など、幅広いテーマに関心を示し、探求しています。「加害者と被害者など、相反する関係性のどちらがもたらすさまざまな困難を抱えています。それならば自分は何を軸とすべきか、学生の間にしっかりと考え抜きたい」と仲間と語り合い思索を重ねています。

「ゼミの活動を通じて、社会的に問題を抱えている人たちの存在に気付く、調査して実態を知ること、視野が広がりました」と研究の成果を実感している山本さん。「当人の立場を理解したり、さまざまな視点を持つて人を助けられるように努めたい」と、将来を見据えて語ります。

THE SCENE

大学有数の歴史と実力を誇る、法政大学体育会。
そんな伝統ある40体育会が日々活動しているワンシーンを、迫力あるカラーグラビアで紹介しします。



ワンダーフォーゲル部

撮影場所：長野県・根子岳周辺
写真提供：ワンダーフォーゲル部

ワンダーフォーゲル部は1949年に創部され、2019年に70周年を迎えました。登山(縦走)、山スキー、自転車など、自然をフィールドとした活動を幅広く行っています。競技スポーツではないので勝敗はつきませんが、合宿の成功が活動実績となります。2020年、2021年はコロナ禍の影響により、計画通りに合宿を行うことができませんでしたが、2022年度からは月に1回程度の合宿を実施できるようになりました。大自然の中で安全に活動するために、随時トレーニングや勉強会などにも取り組んでいます。活動には卒業生をはじめ、多くの方々にご協力をいただいています。今後とも応援よろしくお願いします。

Message

「自由を生き抜く実践知」を
体现している
学生の声をお届けします。

個人競技におけるチーム力

体育会航空部 主将
法学部国際政治学科4年

Harada Shumpei

原田 俊平 さん

2022年3月に公開された青春アニメ映画「ブルーサーマル」をご存じでしょうか。体育会航空部の大学生たちの日常を描いた作品で、そこでは「グライダー」というエンジンの無い航空機に乗り、青空の下で発生する上昇気流(ブルーサーマル)を捕まえながら空を飛んでいます。

グライダーは操縦者だけでは飛ばせないで、安全かつ効率的に飛ばすために部員が役割を分担して地上でサポートしています。1人を飛ばすために全員が協力し、訓練を行っていることは、映画内でも描写されています。

実は、この映画のモデルの一部は法政大学体育会航空部であり、我々も同様の活動をしています。

私は元々は航空機が好きなわけでも、航空関係の仕事に興味があるわけでもなく、大学に航空部という体育会活動があることも知りませんでした。しかし1年次に友人に誘われて航空部の体験搭乗会に参加したことで、自らの操縦で空を飛べることに魅了されました。「4年間を通して、自由に空を飛び続けてみたい」と思い、入部を決定しました。

航空部では、基本的に訓練中の運営も全て部員主体で行います。いかにフライト練習と運営の両立が図れるか

が重要です。

3年次の11月に幹部学年となつてから、主将として安全にグライダーを飛ばすことと訓練効率を両立させることに非常に苦労しました。しかし問題点を把握して改善策を実行すること、卒業された先輩方や教官方からの助言、同期や後輩からの厚いサポートを受けることで少しずつではありますが両立できるようになりました。自らの視点で問題点を理解することと、チーム力の大切さを実感しました。

映画の公開と同時期に「第62回全日本学生グライダー競技大会」が開催され、当時卒業を目前にした先輩方が主力選手として出場しました。

※競技は約7日間にわたり、1日ごとの個人のフライト(飛行)得点を合計し、総合点を競います。飛行中は1人ですが、帰投した際にチームで作戦を考えるなど、操縦者が全力でフライトできるように選手以外の全員がサポートしました。その結果、団体戦では準優勝、個人戦では優勝という輝かしい成績を残すことができました。大会を通して部全体が熱く、一丸となったからこそ結果だと感じています。

今年度は、私の代が主力選手として出場する番です。個々のフライト力と運営力を磨きつつ、チーム力の向上を一番に図り、同期や後輩と共に全力で駆け抜けていきたいと思います。



※競技大会では、設定された2カ所の旋回点(滑空場からそれぞれ6kmの地上目標)を順に通過し、短い時間で帰投した機体から高い得点が付与される。安全に関するルールや設定された高度を違反すると減点対象となる。

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

後援会からのメッセージ



2022年度 後援会会長
鯨岡 光男

会長就任あいさつ

平素より後援会活動へのご理解ならびにご協力を賜り、誠にありがとうございます。改めて厚く御礼申し上げます。

2021年度と同様にオンライン形式で開催された後援会総会において2022年度会長に推挙され、1年間会員の皆さまと共に学生および大学への支援のお手伝いをさせていただきますこととなりました。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

法政大学後援会は1947年に保護者目らが立ち上げ、物心両面で学生と大学を支援し、戦後の教育環境整備を進めてきた、他大学では例を見ない伝統ある組織です。会員による自主的なボランティアを中心とし、大学が行う教育事業や課外活動を援助し、併せて会員相互の親睦を図ることを目的に活動を展開しています。その組織は、首都圏および全国35支部で構成され、会員数は約2万7000人を数えます。

一昨年からのコロナ禍では、困窮

するご家庭や学生への経済的支援

や、大学によるワクチン接種への補助なども実施しました。一方、会員相互の親睦を図る「新入生父母の集い」「父母懇談会」などは、中止やオンライン開催、人数制限など、厳しい制約・条件下での活動を余儀なくされる状況が続いております。

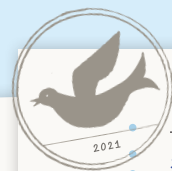
2022年度に入り、多少の光が見え始めたかにも感じられますが、ウィズコロナの環境下で学びを継続していく学生のために、そして全国の会員間の交流を継続・発展させていくためにも、引き続き大学と最大限の連携を図りながら本会を運営してまいりたいと思っております。

諸先輩方が守り続けてきた75年の伝統を受け継ぐとともに、コロナ禍で体験した経験を今後に生かしていくことで、より良い後援会活動を実現できると信じています。そのためにも、皆さまの後援会活動へのより一層のご理解とご協力をどうぞよろしく申し上げます。

2022年度 後援会の主な年間行事

4月3日(日)	入学式(大学行事)	後援会会長が後援会の活動について説明、日本武道館にて開催
5月14日(土)	幹事会	後援会の役員会。決算報告、予算案等を審議
6月4日(土)	支部長会議(オンライン) 総会(ウェブ表決)	後援会事業と支部総会・父母懇談会について打ち合わせ 事業報告・決算報告、事業計画・予算案、2022年度役員を審議決定
7月19日(火)	校友会との懇談会	大学発展のために、校友会と後援会が年1回行う懇談会
7月～8月(土・日)	支部総会・父母懇談会(オンライン併用)	全国支部で開催。総長、理事、副学長、学部長、職員が講演や説明を行う
10月2日(日)	首都圏父母懇談会(市ヶ谷キャンパス)	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の会員を対象にキャンパスごとに開催、講演・学部別懇談会等が行われる(多摩キャンパスは多摩祭と同日開催)
10月9日(日)	首都圏父母懇談会(小金井キャンパス)	
10月15日(土)	首都圏父母懇談会(多摩キャンパス)	
11月12日(土)	支部長会議	支部活動の報告と意見交換
11月12日(土)	副学長・学部長・学生センター長・後援会懇談会	支部父母懇談会で会員から寄せられた質問等に副学長、学部長、学生センター長が回答
11月24日(木)	総長・常務理事との懇談会	総長、常務理事と後援会運営委員が会談
1月7日(土)	オール法政賀詞交歓会	総長をはじめとする法政関係者が集う新年会
3月4日(土)	幹事会	後援会の役員会。暫定予算などを審議
3月4日(土)	後援会賞／外国人留学生表彰	スポーツで活躍した学生、難関試験を突破した学生、国際交流に尽くした外国人留学生を表彰
3月24日(金)	学位授与式(大学行事)	日本武道館にて開催

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより変更になる場合があります



後援会からのメッセージ



2021年度 後援会会長
友利 方彦

会長退任あいさつ

平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。このたび、2021年度後援会会長の任期を終え、鯨岡新会長に「伝統の棒」をつなぐことができました。2021年度の後援会活動を振り返りますと、2年連続して新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、行事の開催方式や参加人数の制限など、条件付きでの活動を余儀なくされました。年度初めに計画していた行事の開催に当たっても、コロナ感染状況を鑑みながら開催可否の判断を都度行うこととなり、会員の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。

このような中、後援会の目的である「学生と大学を支援する」活動を会員の皆さま、大学関係者の皆さまのご理解・ご協力の下、実現できたことに心より感謝申し上げます。「新型コロナウイルス感染症に伴う家計急変奨学金事業」や「新型コロナウイルスワクチン大学拠点接種事業」へは財

政面での助成を行った他、支部総会・父母懇談会と首都圏父母懇談会は、従来の対面に加え、オンラインを併用した新たな開催方式にて2年ぶりに開催することができました。

一方、東京六大学野球や「箱根駅伝」応援など課外活動への統一応援を通じた会員相互の親睦を図ることは難しく、会員有志による会場応援や、テレビ越しでの応援とせざるを得ませんでした。

今年度も、しばらくは昨年度と同様の状況が続くと想定されますが、焦らず、地道に本来の目的である、学生・大学への支援に努めていくことを新役員の皆さまには期待いたします。

この1年間、任期を全うできたのも、共に運営に携わっていただいた運営委員、事務局ならびに関係者の皆さまのおかげです。誠にありがとうございました。

法政大学ならびに後援会のますますのご発展を祈念いたします。

写真で見る 友利会長の1年間



2021年6月 運営会議(運営委員集合写真)



2021年6月 役員研修会



2021年7月 常任参与との懇談会



2021年11月 支部長会議



2022年3月 後援会賞授賞式



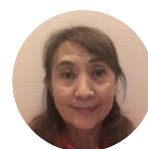
2022年4月 入学式



2022年6月 鯨岡新会長へ棒をつなぐ

東海支部からのレポート

甲子園ボウル応援記



東海支部副支部長
岡野 浩子 (崇志/法学部)



「オレンジ色に染まった甲子園で応援したい!」。息子が大学アメリカンフットボール部の名門「オレンジ」に入部した時から、それが私の夢になりました。昨年度のオレンジは、関東学生リーグの1部リーグTOP8の春季オープン戦から負けなし。秋季リーグ戦、東日本代表校決定戦で優勝し、学生日本一を決める全日本大学アメリカンフットボール選手権(甲子園ボウル)への出場を決めた時は、涙が出るほどうれしかったです。

2021年12月19日(日)、「六甲おろし」の冷たい一日でしたが、天気は快晴。甲子園の一塁側アルプススタンドは、まさに夢に見たオレンジ一色でした。法政にとっては9年ぶりの甲子園ボウルとあって、大学関係者、卒業生、保護者などが集まり、対戦相手の関西学院大学「ファイターズ」の応援団にも負けない盛り上がりでした。後援会の関西支部、東海支部の皆さまも応援に駆け付けてくださいました。

試合中は、コロナ禍に配慮したブランケットや手拍子を用いた応援

で、応援団、チャリダー、吹奏楽部と共に選手たちを盛り上げました。選手にとっては初めて立つ甲子園の舞台、地元チームが相手のアウェーでの戦いですが、熱い応援はきっと心強いものだったでしょう。

第3クォーターでは、エースRB(ランニングバック)の星野凌太郎選手がタッチダウンを決めます。オレンジのブランケットが左右に揺れる様子は、関学サイドから見ても圧巻だったと聞きました。

試合は残念ながら、強豪関西学院大学に敗れましたが、夢の甲子園に連れて行ってもらえたことは、保護者の私にとって昨年の最も心躍る出来事でした。

今年度は山田敦也主将を中心に、躍動感のさらに高まったオレンジの活躍に期待しています。「日本一」を目指すアメリカンフットボール部オレンジに、今後とも熱い応援をよろしくお願いします。

応援に用いたオレンジの
ブランケット



法政大学後援会事務局

〒102-0073
東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4F
TEL: 03-3264-9350
FAX: 03-3264-9367
E-mail: koenkai@hosei.ac.jp



後援会ウェブサイト
<https://www.hosei-koenkai.org/>

個別相談のご案内

後援会会員(保証人)向けに、<事前申込・定員制>の大学職員による個別相談をオンライン(Zoom)・電話で実施します。



学修に関わる 個別相談

(本誌2022年5月号に既掲載の情報です)

- 下記アドレスより「2022年度学修に関わる個別相談事前申込フォーム」へアクセスして、お申し込みください。

<https://forms.gle/sLcbmKRUKaJuWsMA9>



相談日と申込受付締切日

キャンパス	学部	相談日	申込受付 締切日
市ヶ谷	法・文・経営・国際文化・人間環境・ キャリアデザイン・GIS・デザイン工	7月30日(土)・8月6日(土) 9:00~12:00	7月3日(日)
小金井	情報科・理工・生命科	8月6日(土)9:00~12:00	7月3日(日)
多摩	経済・社会・現代福祉	10月1日(土)9:00~12:00	9月4日(日)
	スポーツ健康	7月30日(土)9:00~12:00	7月3日(日)

※締切日厳守をお願いいたします

キャリア形成(就職活動) に関する個別相談

下記アドレスより「2022年度キャリア形成に関する個別相談事前申込フォーム」へアクセスして、お申し込みください。



<https://forms.gle/tACpdBPGRX8qZRvV6>

対 象	学部3年生以上の後援会会員
相談日	9月24日(土)9:00~12:00 10月1日(土)9:00~12:00
申込締切日	9月4日(日)

※締切日厳守をお願いいたします

宮城県支部からのレポート

新入生父母の集い



宮城県支部長
谷口 伸一 (和久/経営学部)

5月22日(日)、仙台市中小企業活性化センターで「新入生父母の集い」を3年ぶりに開催いたしました。オンラインと会場(対面)の併用で、新入生52人のうち10世帯14人(会場11人)、コロナ禍で昨年度招待できなかった新2年生2世帯3人(会場3人)の保護者にご出席いただきました。役員一同も手探りの状態でしたが、学部やキャンパスごとに座席を配置し、会場は和やかな雰囲気になりました。

大学からは、小金井事務部学務課の須賀正志課長にご出席いただきました。ウイズコロナ時代の授業や大学生活についての説明を皆さん真剣に聞かれていました。

文学部4年生の内藤朝陽さんにはオンライン授業の感想やサークル活動、アルバイトの経験を話していただき、コロナ禍で大きく変わった生活様式に対応している姿をとてたくましく思いました。この会を新たなスタートとし、これからも学生に寄り添ってまいります。



宮城県支部の新入生父母の集い
※撮影時のみマスクを外しています



校友会だより

一般社団法人法政大学校友会(以下、校友会)は、「法政ネットワーク」強化を目的に、校友会憲章に謳っている「価値の創生・共創」を基本理念に、大学、後援会と手を携えて三位一体で諸事業を推進してまいります。

多彩な活動で校友の輪を広げる 「パートナー組織」

法政大学校友会には、全国各地の地域校友会・海外団体をはじめ、学部や付属校の同窓会、体育会やサークルの卒業生団体、企業・職種別の卒業生団体といった「パートナー組織」が多数あります。その数は約250にも及び、各組織がそれぞれに多彩な活動を行っています。

校友会ウェブサイトでは、パートナー組織の一覧(下にその一部を掲載)や、組織ごとの活動内容や年間スケジュールを掲載していますので、ぜひご覧ください。

2014年3月以降の卒業生は、卒業と同時に校友会の終身会員となります。卒業後5年間は、卒業年度ごとの組織である「年度同期会」への所属となりますが、パートナー組織の活動にも参加が可能です。パートナー組織への加入によって、卒業後も校友の輪をさらに広げることができるので、ぜひ興味のある組織にご参加ください。

※終身会費(3万円)は、4年次春学期の学費と共に徴収しています。

パートナー組織の一覧はこちらから



<学部・付属校同窓会>

法学部同窓会、文学部同窓会、経済学部同窓会、社会学部同窓会、経営学部同窓会、理系同窓会、人間環境学部同窓会、スポーツ健康学部同窓会、通信教育部校友会、三一・三六法A会、法政大学高等学校同窓会、法政大学第二中・高等学校同窓会、法政大学女子・国際高等学校同窓会

<海外団体>

17拠点の海外団体(シンガポール、韓国、台湾、サイゴン、ハノイ、フィリピン、バンコク、中国、アジア、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ハワイ、英国、フランス、ドイツ、ベルギー)

<卒業生団体>

アメリカンフットボール部OBOG会、法友柔道倶楽部、応援団OBOG会、ラグビー部OB倶楽部、ワンダーフォーゲルクラブ、法政剛柔会、体育会空手部拳友会、工体連OB会、法友体育会、法友野球倶楽部、法泳会、法友陸上クラブ、法友ヨット倶楽部、法政大学自主マスコミ講座OBOG会、文化・フジタオレンジ法友会、法政財界人倶楽部、公認会計士法友会、法政会計人会、法政大学経営者懇談会、不動産鑑定士法友会、法政大学教職員校友会、法政大学法曹会
※約60団体のうち会員数40名以上の組織のみ抜粋

<地域校友会>

47の都道府県校友会と、約150のその地域支部

2022年度 校友会の3大イベント予定

校友会では、卒業生同士の交流を目的に毎年「3大イベント」を実施しています。各イベントの概要と2022年度日程は次のとおりです。詳細は校友会ウェブサイトでお知らせします。

■ オール法政ゴルフ大会「総長杯」

各界の卒業生がゴルフを通じて交流するイベントです。
日程：2022年9月5日(月) 場所：キングフィールズゴルフクラブ(千葉県)

■ 全国卒業生の集い 栃木大会

都道府県持ち回りの開催で、全国から卒業生が一堂に会します。今年は栃木県で大会式典・懇親会を実施します。なお、式典の前日はゴルフ大会、翌日はエキスカッションを予定しています。
日程：2022年11月4日(金)～6日(日) 場所：ホテル東日本宇都宮(大会式典)

■ オール法政新年を祝う会

総勢約1000人の法政関係者が集結し、新年を祝う賀詞交歓を行います。
日程：2023年1月29日(日) 場所：グランドニッコー東京 台場

※各イベントともに新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を講じたうえで実施します



2020年オール法政新年を祝う会の様子



3大イベントの詳細はこちらから



HOSEI ミュージアム HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

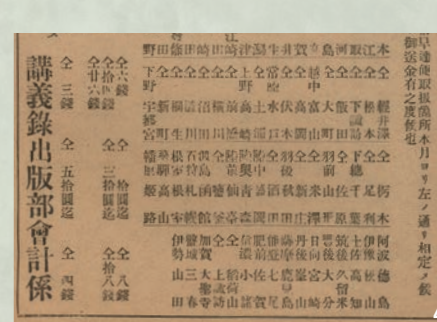
明治期法政大学の講義録 ～通信教育の先駆け～

本学の前身である東京法学校は、通常の講義の他に、さまざまな教育事業を手掛けました。その一つに、「講義録」による通信教育があります。これは今日の通信教育課程の先駆けとして評価することができます。

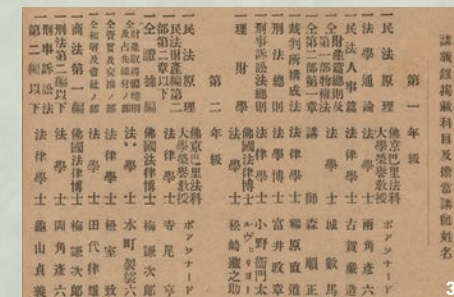
東京法学校が、通信教育を目的とした中央法学会を設立したのは1885年11月のことです。その2カ月前には、英吉利法律学校(現・中央大学)が、通信教育用のテキストである「講義録」を私立専門学校として初めて発行したばかりでした。1887年には専修学校(現・専修大学)が「校外員」制度、明治法律学校(現・明治大学)が「講法会」制度を開始し、私立法律学校では講義録による通信教育制度が黎明期を迎えます。

こうした通信教育制度が普及し始めた背景には、近代的な郵便制度が整備され、郵送による迅速なやりとりが可能となったこと、そして、東京に私立法律学校を中心とした各種の学校が設立される中、それらの学校で教育を受けたという願いながらも、経済的な理由などで上京できない多くの地方青年の存在がありました。中央法学会の規則第一条には、「本会ハ地方ニ在リ良師ニ乏シキ者又ハ東京ニ在ルモ学校ニ入ル能ハサル者ヲシテ法律ヲ研究セシムルノ目的ヲ以テ之ヲ開設スルモノナリ」とうたわれています。

中央法学会は東京法学校主幹の薩埵正邦を会頭に発足し、発足間もなく、入会者は千余人にも及びました。1887年には、校外生から判事試験及第者21人、代言人(弁護士試験及第者10人を輩出するなど、好成績を残しています。1889年、東京法学校は東京仏学校と合併し、和仏法律学校と改称。中央法学会は解散しましたが、通信教育制度は同校の「校外生」制度へと継承されました。この「校外生」制度は、1890年、講師の春日肅を主任として発足したものです。G・E・ボアソナード、梅謙次郎、富井政章など当時の講師陣全員が授業を担当したことから評判を呼び、1892年に約5000人、翌1893年には約8500人と多くの校外生を集めました。



法政大学沖繩文化研究所
創立50周年記念展示
「沖縄を知り、考え、つなげる」を開催中
(8月26日まで)
詳細はHOSEIミュージアムウェブサイトをご覧ください。



- 1 薩埵正邦による『財産法講義 全』(中央法学会蔵版、1887年)
- 2 『和仏法律学校講義録』第1学年第3号(1890年2月)。HOSEIミュージアム デジタルアーカイブで公開中
- 3 「〔和仏法律学校〕講義録掲載科目及担当講師姓名」(1890年2月)
- 4 和仏法律学校講義録「広告」(1890年3月)。北海道から鹿児島まで日本全国に校外生が存在していたことがうかがえる



法政大学応援団が六大学野球 応援デモンストレーションを行いました

4月7日(木)、昼休みの時間を利用して本学富士見ゲートの正門前広場にて、法政大学応援団と早稲田大学応援団が合同で応援デモンストレーションを行いました。

このデモンストレーションは、例年、六大学(法政大学、早稲田大学、東京大学、明治大学、立教大学、慶應義塾大学)に属する応援団が、六大学野球の対戦に合わせて各大学のキャンパス内で行っているものです。

2020年、2021年はコロナ禍で中止されたため、2022年度は3年ぶりの実施となりました。



陸上競技部の黒川和樹選手らが各大会 で好成績

4月15日(金)～17日(日)にかけて、*FISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)の日本代表選手選考競技会を兼ねた「2022 日本学生陸上競技個人選手権大会(2022 All Japan University Track&Field Challenge Meeting)」が開催されました。本学陸上競技部から数多くの選手が参加する中、松本純弥選手(経済学部4年)が800mで優勝、黒川和樹選手(現代福祉学部3年)は400mハードルで大会新記録(NGR)を出し、栄冠に輝きました。



松本純弥選手
(写真提供:スポーツ法政新聞会)



黒川和樹選手
(写真提供:スポーツ法政新聞会)

なお、黒川選手は5月8日(日)に開催された「セイコーゴールデングラプリ陸上2022東京」にも出場し、東京オリンピック2020大会で銀メダルに輝いたライ・ベンジャミン選手(米国)と接戦を繰り広げ、0秒48差の49秒08で2位を記録しています。

※本大会は2023年開催に延期となりました。



白井陽貴選手、V・ファーレン長崎への 2023シーズン加入が内定

本学サッカー部の白井陽貴選手(スポーツ健康学部4年)は、2023年度のシーズンよりJ2リーグに属するV・ファーレン長崎に加入することが内定しました。

白井選手は「2022年Jリーグ・JFA特別指定選手」に認定されたため、2022年度のJリーグの公式試合にも出場可能です。白井選手の活躍にご注目ください。



白井陽貴選手(写真提供:サッカー部)



SDGsに関する理解を促進する学習 ツール「SDGsスタディパネル」を公開

法政大学では、SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けたさまざまな活動を展開しています(3ページ参照)。現在、SDGsに関する理解を促進し、行動を誘発するためにデザイン工学部川久保研究室が「SDGsスタディパネル」を開発し、ウェブサイト上で公開しています。

SDGsスタディパネルは、SDGsのゴールごとに、関連するキーワードや世界と日本の現状がまとめられた計17枚のパネルです。教育現場はもちろんのこと、あらゆる分野のSDGs理解促進の活用が図れます。



SDGs
スタディパネル



社会学部で「先輩学生による 相談窓口」を新たに実施

主に新入生のサポートを目的に、本学社会学部の先輩学生が大学での学習の仕方など、大学生活全般に関する質問に答える「先輩学生による相談窓口」を、4月4日(月)～4月15日(金)に社会学部棟にて開催。学内の施設案内や時間割の組み方、サークル活動など、多くの新入生の疑問に対応しました。

対応した社会学部の学生スタッフの下には、期間中の合計で262件の相談が集まり、新たに大学生活をスタートした後輩学生たちを支援しました。



市ヶ谷図書館ライブラリーサポーターに よる「オンライン読書会見学会」を実施

大学図書館の利用促進を図るため、市ヶ谷キャンパスのライブラリーサポーターはさまざまなイベントを企画・運営しています。

4月28日(木)には、定期的な活動の一つである「オンライン読書会」の様子を自由に見学できる「オンライン読書会見学会」が実施されました。



理工学部機械工学科吉田一朗教授が「精密 工学会精密工学会誌インパクト賞」を受賞

3月16日(水)、理工学部機械工学科の吉田一朗教授が、公益社団法人精密工学会の「第1回 精密工学会 精密工学会誌インパクト賞(JSPE Best Impact Article Award)」を受賞しました。

この賞は、精密工学会誌に掲載された約6000件に及ぶ論文と記事の中で、年間の閲覧・参照回数が多かったものに対して贈られる賞です。受賞対象となった論文は「表面粗さ一その測定方法と規格に関して」です。



受験生向けの大学案内動画を 公開しました



大学案内動画

法政大学への進学を考えている受験生に向けた大学案内動画が公開されました。

本学の歴史やキャンパスの紹介をはじめとして、学部の枠を超えて学べる各種のプログラム、キャリア支援、課外活動など、法政大学の魅力を紹介しています。



海外大学生とのオンライン交流会を 継続的に開催

コロナ禍の学生生活応援プロジェクトの一つとして始まった海外大学生とのオンライン交流会は、「母の日」「(ペットや好きな動物などの)アニマルトーク」「最近私が気になっていること」など、日常的な話題をテーマにしながら、定期的に回を重ねています。

参加を希望される方は、大学間協働による学生国際交流プラットフォーム「e²square(イーフォースクエア)」を参照してください。



e²square



学習ステーションがミニオープンキャンパス ツアー「市ヶ谷キャンパス探検隊」を開催

4月21日(木)、学習ステーションの学生スタッフによるミニオープンキャンパスツアー「市ヶ谷キャンパス探検隊」を開催しました。

新入生のみならず全学年を対象に、教室の移動で迷わないコツ、各施設の設備の使い方、食堂の利用方法など、市ヶ谷キャンパスの隅々をより深く知るためのポイントを押さえながらキャンパス内を巡りました。ツアー後に交流会も開かれ、学部を超えた交流の機会になりました。



「緊急時休講情報・安否確認」ページを 設置しました

2022年度から大学公式ウェブサイト内に「緊急時休講情報・安否確認」ページを設置しました。以下3点の案内を掲載していますので、下記緊急時には必ず確認するようにしてください。

- ・台風や大雪、ストライキなどによる交通機関の乱れが生じたときの休講情報
- ・災害が発生した際の安否確認
- ・災害などの緊急時の情報配信

これに伴い、災害発生時の対応訓練として、5月24日(火)に防災訓練を実施し、同日から5月30日(月)まで安否確認のための回答を入力・送信する訓練を実施しました。



緊急時休講情報・安否確認



夏季休暇期間中の図書館の 開館・利用情報

夏季休暇期間中も市ヶ谷、多摩、小金井の各図書館は開館し、長期貸出を実施します。開館日時の詳細は図書館ウェブサイトでご確認の上、ご利用ください。

※ただし、8月13日(土)～8月19日(金)の期間は、休館となります。休館期間中、法定停電およびシステムメンテナンスにより、OPAC(オンライン蔵書目録)などでの各種検索サービスや電子資料の閲覧および、開館カレンダーの表示ができない場合があります。



法政大学図書館



多摩キャンパスにて 「春のWebオープンキャンパス」を実施



3月19日(土)および21日(月・祝)の2日間にわたって「多摩キャンパス春のWebオープンキャンパス」が開催されました。

当日はビデオ会議ツールを利用した個別相談「多摩キャン生なんでも相談室」やオンラインキャンパスツアー「学部生の"イチ推し"ツアー」、ライブ配信形式によるトークショー「法政トーク!」など、多摩オープンキャンパス学生スタッフによる、高校生の志望校選びや受験勉強を応援するための企画を実施。参加者からは「直接学生と話せてモチベーションが上がった」など、好評の声が届きました。



レンタル 卒業袴

法政大学をご卒業予定のみなさまへ

株式会社ジョイフル恵利・株式会社曽我

学内予約会のご案内

＼移動はラクラク！／

卒業式当日は
シャトルバスを運行！

着付け会場
学内体育館



卒業式会場
武道館

市ヶ谷キャンパス
予約会

外濠校舎3階ギャラリー
11:00～17:00

多摩キャンパス
予約会

総合棟地下1階
生協様店舗(タマえもん店)内
10:30～16:00

マイコム特典
早期予約が
断然お得！

<一例>

手ぶらのパックを
お申し込みで

5500円引き！

(8/末まで)

※特典は業者によって異なります。

<展示会日程>

市ヶ谷キャンパス						期間
2022年	7 / 4	月	～	7 / 8	金	5日間
	9 / 26	月	～	9 / 30	金	5日間
	10 / 17	月	～	10 / 21	金	5日間
	11 / 14	月	～	11 / 18	金	5日間
2023年	1 / 11	水	～	1 / 13	金	3日間
多摩キャンパス						期間
2022年	7 / 11	月	～	7 / 15	金	5日間

予約優先

展示会は予約優先となっております。右記より予約をお願いいたします。<https://www.gasyukuryoko.com/hosei-hakama/>



提携業者 **ジョイフル恵利** (株式会社ジョイフル恵利)

期間限定 レンタル卒業袴専門店

はかまギャラリー **浅草**
10:30～17:00

●法政大学学内予約会と
同じ商品をご覧いただけます

はかまギャラリー **横浜**
10:30～19:00

●学内限定特典も
ご利用いただけます

はかまギャラリー **高田馬場**
10:30～17:00

●常時、着物100点以上、
袴60着以上の豊富な品揃え
●はかまギャラリーにしか
ない限定衣装や小物も
ご用意しております

ご予約はコチラから

<https://hakama-joyful-eli.com/>



※当社振り袖店舗とは取扱商品・
特典が異なります。
※完全予約制です。



ジョイフル恵利
イメージキャラクター **土屋太鳳**

提携業者 **株式会社 曽我** (Winged Closet)

東京都文京区白山5-5-8

0120-529-248

主催



株式会社エイチ・ユー

マイコム学生サービスセンター

営業時間 10:00-18:00 ※土・日・祝祭日を除く

電話 03-5322-0489

住所 〒163-1505 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 5階

ジョイフル恵利と曽我の2社は、エイチ・ユー マイコム学生サービスセンターの提携業者です。